

■ ひとり親家庭等就業支援相談

ひとり親家庭等のママ・パパの就職活動をお手伝いします。
※仕事や求職活動をしていない人で、「児童扶養手当一部支給停止適用除外事由届出」が必要な人は、ぜひご利用ください。

【就労支援専門員（埼玉県西部福祉事務所）による相談】

- ▶ 日程：8/25（火）
- ▶ 時間：10:00～16:00（1人1時間程度）
- ▶ 場所：役場 502 会議室
- ▶ 申込み：下記に電話で申し込み。※事前予約制。

☎ こども支援課児童福祉担当 ☎ 243

■ 給付金・貸付制度

(1)～(5)の給付・貸付は支給条件を満たしている人が対象です。事前に、埼玉県西部福祉事務所へ問い合わせください。

(1) 高等職業訓練促進給付金

- ① 資格取得のために1年以上養成機関等で修業する場合、月額7万5千円（非課税世帯は10万円）を修業期間中（上限48か月）に支給します。※最後の12か月は4万円増額。
 - ② 養成機関終了後、2万5千円（非課税世帯は5万円）支給。
- 【対象となる資格】
看護師（准看護師）・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・美容師・社会福祉士・製菓衛生士・調理師など

(2) ひとり親家庭高等訓練促進資金貸付制度

高等職業訓練促進給付金を受給している人に、入学準備金（50万円以内）や就職準備金（20万円以内）の貸付けを行います。資格取得日から1年以内に、その資格を活かして埼玉県内で就職し5年間従事した場合、貸付金の返済義務が免除されます。
※埼玉県社会福祉協議会ホームページを参照。

■ ひとり親家庭相談会

ひとり親の自立をお手伝いする専門支援員がお話を伺います。
※お子さんの高校・大学・専門学校などの進学費用の無利子貸付、資格を取得して自立、養育費や当面の生活費で困っているなど。

【母子・父子自立支援員（埼玉県西部福祉事務所）による相談】

- ▶ 日程：8/13（木）
- ▶ 時間：10:00～16:00（1人30分程度）
- ▶ 場所：役場 202 会議室
- ▶ 申込み：下記に電話で申し込み。※事前予約制。

☎ こども支援課児童福祉担当 ☎ 243

☎ 埼玉県西部福祉事務所 ☎ 049-283-6800

(3) 自立支援教育訓練給付金

指定教育講座の受講修了者に、経費の60%相当額（修業年数×20万円、最大80万円）を支給します。※雇用保険制度の一般教育訓練給付の支給を受けた場合は、その差額を支給。

(4) 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

- ① 高等学校卒業程度認定試験の対策講座を修了した場合、受講経費の40%（上限10万円）を支給します。
- ②①の給付を受けた人が受講修了日から2年以内に高卒認定試験の全科目に合格した場合、受講経費の20%（①と合計して上限15万円）を支給します。

(5) 母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付制度

経済的自立や扶養している子どものために、必要な資金を貸し付けする制度です。※希望する人は事前相談してください。
【貸付内容】
就学支度金、修学資金、技能習得、修業、生活、住宅、転宅、事業開始・継続、結婚（子）

ひとり親世帯臨時特別給付金

ひとり親を支援するため、給付金が支給されます。

詳細は
厚生労働省 HP を
ご確認ください。



■ 基本給付

- ▶ 支給額 1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円
- ▶ 対象
 - ① 令和2年6月分の児童扶養手当が支給される人
 - ② 公的年金等（遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償等）を受給していて、令和2年6月分の児童扶養手当の支給が全額停止の人
 - ③ 新型コロナウイルスの影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している人と同じ水準になっている人
- ▶ 申請方法
 - ①の人は申請不要。8月中旬以降に令和2年6月分の児童扶養手当の受給口座に振り込み。
 - ②③の人は申請書（※）に振込口座等を記入し、必要書類を添えて、こども支援課の窓口・郵送で提出。

■ 追加給付

- ▶ 支給額 1世帯5万円
 - ▶ 対象
基本給付の対象①または②に該当する人で、新型コロナウイルスの影響を受けて家計が急変し、収入が減少した人
 - ▶ 申請方法
申請書（※）に振込口座等を記入し、こども支援課の窓口・郵送で提出。
- ※基本給付と追加給付の申請書は、こども支援課窓口・埼玉県ホームページ（下記URL）より入手できます。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0607/hitorioya-kyuuhtml>

給付金の問合せ先

厚生労働省「ひとり親世帯臨時特別給付金」コールセンター
☎ 0120-400-903（受付時間）平日9:00～18:00

必要な人に
必要な支援を。

ひとり親家庭などへの支援

さまざまな制度を
ご利用ください。

■ 児童扶養手当

☎ こども支援課児童福祉担当 内線 243

父母の離婚などが理由で、ひとり親である家庭の生活の安定と自立、子どもの福祉の増進を目的として支給される手当です。

● 手当額（月額）

令和2年4月から手当額が変更となりました。（消費者物価指数の上昇に伴う増額）

	全部支給	一部支給（所得に応じる）
子ども1人	43,160円	43,150円～10,180円
2人目の加算	10,190円	10,180円～5,100円
3人目以降の加算	6,110円	6,100円～3,060円

● 所得制限額

扶養親族等	本人		扶養義務者・配偶者・孤児等の養育者
	全部支給	一部支給	
0人	49万円	192万円	236万円
1人	87万円	230万円	274万円
2人	125万円	268万円	312万円
3人	163万円	306万円	350万円
4人	201万円	344万円	388万円

※養育費の8割は所得に加算されます。

※一律控除（8万円）のほか、諸控除が受けられる場合があります。

児童扶養手当現況届提出期間

児童扶養手当受給者は、受給資格を確認するため提出期間内に現況届を提出してください。

児童扶養手当受給者は、前年の所得等の状況と8月1日現在での受給資格を確認するため現況届を提出してください。添付書類等の詳細は、該当者に郵送にて通知しています。
※現況届を提出しないまま2年が経過すると、時効により受給する資格がなくなりますので、必ず提出してください。（特に、現在所得オーバーにより支給停止の人は、その後所得が下がって受給できる場合がありますのでご注意ください。）

■ ひとり親家庭等医療費助成制度

児童扶養手当と同じ支給要件に該当する人に、医療費（保険診療）の一部助成を行っています。

- ▶ 対象：健康保険に加入しているひとり親家庭等の父または母および養育者とお子さん（18歳になる年度末まで）
- ▶ 助成内容：入院・通院の保険診療の一部負担金（2割・3割）を助成。ただし、課税世帯の人は、下記の自己負担金が発生します。
- 【自己負担金】※課税世帯のみ
 - ・外来：人ごと、月ごと、医療機関ごとに各1,000円まで
 - ・入院：1日1,200円
- ※加入している健康保険組合等から支給される高額医療費、付加給付金を除いた額が助成対象となります。詳しくは、下記へお問い合わせください。

☎ こども支援課児童福祉担当 ☎ 243

■ 母子・父子福祉センター

ひとり親家庭の人の経済的自立を支援する就業相談や養育費に関する相談を行っています。希望者には女性弁護士による法律相談（予約制）も行っています。※利用無料
☎ 母子・父子福祉センター ☎ 283-7991
【受付時間】月～金曜日（祝日除く）9:00～17:00

■ ファミリー・サポート・センター、緊急サポートセンター利用料助成

ひとり親家庭の父または母および養育者を対象に、両センターの利用料金の半額を助成します。（月1万5千円が上限）
【利用例】
保育所・幼稚園・習い事の送迎、軽度の病気・病後の預かり等
※利用するには、事前に利用登録が必要です。
☎ こども支援課児童福祉担当 ☎ 243
三芳町ファミリー・サポート・センター ☎ 258-0075

忘れずに
提出!

8/1（土）～8/31（月）

（土日祝日を除く）8:30～17:15まで

※ 8/1（土）は 8:30～正午まで

※ 8/20（木）は 8:30～19:00まで